

パネル1 モデレーター・パネリスト略歴

モデレーター

木寺 昌人（外務省総合外交政策局審議官）

東京大学法学部卒業後、外務省入省。フランス国立行政学院にて研修。フランス公使、在ジュネーブ国際機関日本代表部公使・世界貿易機関次席代表、経済局審議官を経て、現職。

パネリスト

伊奈 久喜（日本経済新聞論説副主幹）

早稲田大学政治経済学部卒業、日本経済新聞社入社。政治部、ワシントン支局、ジョンズ・ホプキンス大学 S A I S 外交政策研究所、編集委員兼論説委員などを経て2006年3月より現職。1998年度ボーン・上田国際記念賞受賞。青山学院大学、聖心女子大学で教鞭を執る。

パネリスト

細谷 雄一（慶應義塾大学法学部助教授）

1971年生まれ。慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了。博士（法学）。国際政治学、国際政治史、とりわけイギリス外交史を専攻。北海道大学法学部専任講師などを経て、2006年4月以降現職。主要著書として、『戦後国際秩序とイギリス外交』（創文社、サントリー学芸賞受賞）、『外交による平和』（有斐閣、櫻田会賞受賞）、『大英帝国の外交官』（筑摩書房）。

パネリスト

六鹿 茂夫（静岡県立大学大学院国際関係学研究科教授）

1952年生まれ。上智大学大学院国際関係論専攻修士課程修了。ブカレスト大学大学院法学研究科博士課程修了後、静岡県立大学国際関係学部助教授を経て1997年から現職。専門は「広域ヨーロッパ国際政治」。主要論文として、「黒海地域の安全保障」『国際安全保障』所収、「欧州近隣諸国政策と西部新独立国家」『国際政治』所収、「N A T O・E U 拡大効果とその限界」『ロシア・東欧学会年報』所収、「拡大後のE U が抱えるもう一つの難題－欧州近隣諸国政策 vs 近い外国」『外交フォーラム』所収、などがある。

パネリスト

村田 晃嗣（同志社大学法学部教授）

同志社大学法学部卒業。米国ジョージ・ワシントン大学留学を経て、神戸大学博士号（政治学）取得。広島大学総合科学部助教授、同志社大学法学部助教授を経て2005年4月より現職。著書に『変容する日米安保政策コミュニティ』（第2回読売論壇新人賞・優秀賞受賞論文を所収）、『大統領の挫折－カーター政権の在韓米軍撤退政策』（アメリカ学会清水博賞・サントリー学芸賞）、『戦後日本外交史』（共著・吉田茂賞）、『米国初代国防長官フォレストル』、『アメリカ外交』（講談社現代新書、2005年）、『プレイバック 1980年代』（文春新書、2006年）など。